

同窓会報 白百合

〈 題 字 〉
元仙台北百合短期大学教授 保井明子

〈 発 行 〉
仙台北百合女子大学同窓会
同窓会事務局 仙台市泉区本町6番1号
同窓会事務局直通TEL・FAX(022) 372-3595
仙台北百合女子大学
TEL(022) 372-3254
FAX(022) 375-4343

〈 印 刷 〉
ハリウ コミュニケーションズ

No.
54

発行 2025 年5月

来年お祝いする創立 60 周年を飛躍台として

仙台北百合女子大学 学長
同窓会 名誉会長

加藤 美紀



仙台北百合女子大学同窓生の皆様には、日頃より母校のために格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2024 年 4 月、学長就任と同時にビジョン 2030 を掲げ、教職員みな力を合わせて SSGs (Sendai Shirayuri Goals) に取り組んでおります。「いのちを守る」「共に生きる」「よりよい世界を」「明るい地球の未来へ」というゴールと 8 つの課題はすべて、学生の幸福と成長のため、そして地域社会に貢献し、よりよい世界をつくるための実現目標です。SSGs は、SDGs の達成に向かう国際社会と連帯しながら、白百合の創立母体、シャルトル聖パウロ修道女会 (SPC) が掲げる「すべての人にすべてとなる (Be All to All)」を教育・研究活動において具現化しようとするものです。

来年 2026 年は SPC 創立 330 周年を迎えるとともに、本学は創立 60 周年をお祝いいたします。この尊い節目の年を飛躍台として白百合の新しい時代を築くために、今後とも皆様のご支援とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

さて、私が本学に着任したのは千年に一度ともいわれる 2011 年の東日本大震災直後でした。当時の式井久美子理事長先生に「あなたを日本全国で一番美しい場所に派遣します」と仙台への派遣を命じられたのは震災前のことで、異動の日には仙台空港も仙台駅も倒壊し

ており、山形から真っ白な雪山の中をバスで向かいました。道中、救助に駆けつけるボランティア団と目で挨拶を交わし合い、危機の中で共に立ち上がろうとする、見知らぬ人々との見えない連帯を感じたものです。着任後は予期せぬ復興への歩みが待っていました。そうして年ごとに仙台の美しさと仙台北百合の素晴らしさを味わうことになりました。

とりわけ教師冥利に尽きると感じたのは、学生たちと一緒にした活動です。南三陸町や石巻の瓦礫撤去、フィリピンの山岳民族が暮らすアエタ村でのボランティア、ノートルダム大聖堂復興支援、蔵王でのゼミ合宿、全学行事で活躍する聖歌隊やダンス部の応援、修道院恒例のクリスマス会、建学の精神を学ぶイタリア・フランス研修…。週 8 コマの講義は私にとって何ものにも代えがたく、キリスト教学の授業で「実は今日は誕生日で」と話すとワァーッと笑顔で拍手してくれるような心根の優しい学生たちに恵まれて、幸せを感じることの多い年月でした。

これまでお世話になった数えきれない学生・保護者（保証人）・同窓会の皆様方にせめてもの御恩返しができるように、最善を尽くす決意を新たにしているところでございます。

末筆ながら皆様のご多幸を心からお祈り申し上げます。

大学とともに歩む同窓会を目指して

同窓会 会長
家政科 7 回生

氏家 幸子



近年、思いもよらないような災害や事故、パンデミックなどのニュースが飛び込んできて、心を痛める出来事が多く報道されるなかではございますが、同窓会会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

大学は次年度の 2026 年度、短期大学創設から 60 周年の記念の年を迎えようとしております。おりしも大学の設立母体であるシャルトル聖パウロ修道女会も創立 330 周年を迎え、大学では昨年度より、学長加藤先生のもと「創立 60 周年プロジェクトチーム」を発足し、同窓会からも私や副会長、さらに学内幹事の方々もメンバーに加わり記念事業について検討を重ねているところでございます。

このような記念の年に、大学を盛り立て、学生たちを支援してはいかがかというご意見をいただき、昨年 10 月の白百合祭の日には全体幹事会を開催し、皆様のご賛同を得て、大学への寄付を決めさせていただきました。寄付に対して、大学側からは感謝の意を伝えられ有効利用するために検討を重ねているとの報告を受けております。

また、全体幹事会同日には、同窓生の大衡村村長小川ひろみ様の講演会を大学と同窓会の共催で開催いたしました。これは、新型コ

ロナ感染症対策で中止となっていた同窓会総会を 5 年ぶりに開催したことをきっかけにして実現したお話です。今年度も 6 月 1 日（日）に同窓会総会を開催することになっておりますので、ぜひ多くの皆様にご参加いただきたいと思います。参加してみたいけれど…と気おくれしている方もいらっしゃると存じますが、きっと様々なご縁がつながる幸せなひとときを味わうことができるでしょう。

昨年度は例年開催している白百合祭の「チャリティーバザー」の他に、初めての大学企画「クリスマスチャリティーバザー」にも関わらせていただきました。事務局の皆様にはいろいろとご負担をおかけいたしました。このように同窓会は大学と共に歩むという姿勢で、学生の皆様の「一人ひとりの『いのち』が輝く」ようにご支援させていただきたいと考えております。

主なお知らせや出来事、さらに同窓会報はバックナンバーも含めて、大学のホームページの同窓会コーナーに掲載しておりますので、どうぞご覧いただき、引き続きご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

同窓会総会に出席して

家政科15回生

佐々木 和子

コロナ禍で還暦祝いがなくなり、仕方ないと諦めていたところに同窓会より開催のご案内が届き、梅雨入り前の緑が眩しい日に同期の友人たちと出席しました。

今年は家政科28回生から32回生と英語科7回生から11回生が卒業25周年、家政科14回生から18回生が還暦記念対象です。

総会が滞りなく終わり、その後、各テーブルで美味しいお料理をいただきながら、懐かしい話に盛り上がりました。

ほんの2年間の短い学生時代でしたが、とても内容の濃い2年でした。

校舎の裏山に野生動物が出たこと、いつも提出物の入った風呂敷を抱えていたこと、実習や実験の提出に追われ

たこと、制服があったこと等々思い出します。白百合の同窓会はいくつになっても学生だった頃に戻してくれます。

今回も懐かしい恩師の先生方も出席されていました。千葉洋子先生の笑顔と当時とお変わらないよく通るお声で、「元気でいてね、またお会いしましょうね」と言ってくださり元気をもらいました。

卒業して40年以上経ちましたが、これからも同窓生の誇りを持って歩んで参ります。

最後になりますが、このような会を開催するにあたり、ご尽力くださいました皆様に感謝申し上げますと共に、母校の益々の発展と皆様方のご健康を心よりお祈り申し上げます。



Yukata Day

前学生会会長
グローバル・スタディーズ学科4年
北村 沙和

2024年度の「Yukata Day」は、7月5日（金）に開催されました。今年度は昨年よりもさらにパワーアップしたイベントにしようと、企画を進めました。学生会役員は、企画書の作成から先生方や学生への周知、当日の運営まで多くの業務を担当しましたが、一丸となって取り組みました。多くの方々のご協力のおかげで、無事に開催することができました。心より感謝申し上げます。

今回の「Yukata Day」では、「夏祭り」を彷彿とさせる催しを行いました。キャンパス内には複数のブースを設け、わたあめやポップコーンの販売、お菓子釣りなどの屋台を運営し、本物の夏祭りさながらの楽しい雰囲気を作り出しました。多くの学生が浴衣を着て写真を撮ったり、花火を楽しんだりしながら、お祭り気分を満喫し、

素敵な思い出を作ってくれていたら嬉しいです。たくさんの笑顔があふれる一日となり、普段の大学生活とは一味違った時間を過ごせたのではないかと思います。そして、「Yukata Day」の締めくくりには、お待ちかねの花火大会が開催されました。打ち上げ花火や手持ち花火を楽しむ学生たちの姿が見られ、会場は和やかな雰囲気に包まれていました。

「Yukata Day」は、浴衣を着て大学で過ごせる、仙台白百合女子大学ならではのイベントです。2年生から4年生はもちろん、今年は新たに加わった1年生の姿も多く見られました。たくさんの学生が積極的に参加してくれている様子を見て、とても嬉しく思いました。



2024年度入会式

2025年3月13日（木）、本学講堂にて人間学部26回生の同窓会入会式が行われました。

マリア様に見守られ、211名（3月13日現在）の新会員を迎えることが出来たことを嬉しく思います。

大学生活で学んだ多くのことを原動力に、益々のご活躍と、ご多幸を心よりお祈りいたします。



— 同窓会より 記念品 —

2025 年度 同窓会総会のお知らせ

期 日 2025年6月1日(日)

会 場 仙台ロイヤルパークホテル

時 間 11:00～15:00
(受付開始 10:30)

会 費 7,500円

講 演 会

講演者：仙台白百合女子大学同窓会名誉会長
仙台白百合女子大学学長 加藤 美紀

今年は、学長 加藤美紀先生の講演会を予定しております。
皆様、是非お誘い合わせのご出席下さいますようお願いいたします。

「卒業 25 周年を祝う会」

家政科 33 回生
英語科 12 回生
大 学 1 回生

の方は卒業 25 周年を迎えます。

「還暦を祝う会」

家政科 19 回生の方は還暦をお迎えになられます。

別途お祝い会は予定しておりませんが、総会にて同窓会
よりお祝いを差し上げたいと思っております、是非多数
のご参加をお待ちしております。

お申込みは原則 5 月 21 日まで、お願いいたします。

右の QR コードよりお申込みください。お電話・FAX・メールでのお申込みも受付しております。

<https://forms.gle/dBoShwELD9osb5pv5> ▶



2024 年度学位記授与式を挙行いたしました

2025 年 3 月 14 日(金)、本学講堂にて学位授与式を挙行いたしました。

皆、4 年間の学びの成果を手に、新たな旅立ちを迎えました。

本学を巣立っていく白百合生一人ひとりの前途に神様の祝福がありますよう、願っています。



新 幹 事 紹 介

仙台白百合女子大学 人間学部 26 回生

人間発達学科 子ども発達専攻

A 組 伊藤 実穂

B 組 高橋 凜南

心理福祉学科

相原 栄美／澁谷 凜

健康栄養学科 管理栄養専攻

A 組 笠原 朱莉／工藤 茉依

B 組 半澤 優鈴／藤原美沙希

グローバル・スタディーズ学科

A 組 鈴木 果恋／今野 紗良

B 組 齋藤亜優香／佐々木穂佳

鈴木和義先生のご逝去を惜しみます 「カリタスの丘」からの祈り

元総合福祉学科准教授・家政科2回生

千葉 洋子



故 鈴木 和義先生

いまだコロナ禍の影響が残る昨年の初冬、鈴木和義先生（元仙台白百合短期大学教授）は2024年11月21日にご帰天なされました。

先生は大変熱心なカトリック教の信徒であり、学校創設時には準備委員としての使命感を持ってご活躍なされた方でした。その働き振りは、信念を曲げることなく誠実な人柄が評判を得られておりました。

かつて校内の登り口にあった小さな木製の碑に刻まれていた聖書の一句。

「ウビ カリタス エト アモール、デウス イビ エスト

(Ubi caritas et amor, Deus ibi est)

いつくしみと愛のあるところそこに神はまします」

その聖書のお言葉通りに、「私の生き方を伝えなさい」ということを信じて実践した方でした。鈴木先生は学校創設に

あたって、当時のスール海老原ゆり先生やスール和田美稚子先生のご信頼を一心に受け、短大設立時の先生方とともにご尽力を頂きました。

そのメッセージは、今も力強く伝わっているものと確信しております。

晩年、先生は仙台白百合女子大学の近くに隣接するカトリックの「カリタスの丘」に入所され、多くの卒業生のお世話を受けられ喜んでいたお姿が思い出されます。

以前、施設のお部屋を訪ねた折、哲学書やカトリック研究書などの専門書がところ狭く積み上げられていました。お勉強好きの先生の「一番天国に近い、見晴らしのよいところでお祈りや勉強ができるのだよ。」と嬉しそうな笑顔が思い出されます。

仙台白百合短期大学記念誌『いのちの泉』2004年発行本の紙カバーをはずしながら布製（制服色）の本を引き出してみると、“シュルシュル”とかすかな音色を発し、懐かしい思い出が蘇ってきました。

心から先生のご冥福をお祈り申し上げます。

年会費お支払のお願い

卒業時に納入していただきました終身会費は、通信費等に使われておりますが、諸般の値上がり等により、60歳以上の方に年間2,000円の会費のご協力をお願いしております。

尚、60歳をお迎えにならなくても、ご賛同をいただけます方はご協力よろしく願いいたします。会費は、下記の口座へお振込くださるようお願いいたします。

記

●ゆうちょ銀行 02280-2-137248 （※振込票は同封しておりませんので何卒、各自でお願いいたします。）

●加入者名 仙台白百合女子大学同窓会 （※同封の振込用紙とは異なりますのでご注意ください。）

送金なさる時、回生も書いてください。（封筒の宛名の下に書いてあります。）（例 家政科1回生）

●年会費 2,000円 振り込み手数料はご負担をお願いいたします。

2024年度（令和6年度）年会費

家政科 1回生	12名	2回生	5名	3回生	3名	4回生	2名	5回生	2名	6回生	2名	7回生	4名
家政科 8回生	4名	9回生	1名	10回生	2名	12回生	5名	15回生	2名	16回生	4名	18回生	1名
英語科 4回生	2名	女子大学 7回生	1名	8回生	1名	14回生	1名						

合計協力金 124,000円（人数54名） 2025年3月31日現在

ご協力ありがとうございました。

計 報

謹んでお悔やみ申し上げます。

回生	科	名前
〈短大〉		
1	家政B	佐々木 和 子
7	家政C	若 生 純 子
10	家政B	小 林 圭 子
12	家政食	近 藤 明 子

〈教職員〉 鈴 木 和 義

ご逝去なされた方の情報がお分かりになりましたら、事務局までお知らせくださいますようお願いいたします。



特別講演「女性村長は躍動する～大衡村の将来構想～」のご報告

グローバル・スタディーズ学科教授

学生部長

小形 美樹

2024年10月27日の白百合祭において、本学OGである宮城県黒川郡大衡村村長、小川ひろみ様による特別講演が行われました。第一部が小川村長のご講演、第二部が小川村長と本学学生との対話という二部構成で、多くの方々にご参加いただきました。開会にあたり、まず、加藤美紀学長から、本学の創立60周年に向けた取り組みが報告され、小川村長を迎えられたことの喜びが述べられました。

第一部のご講演では、小川村長から、生い立ちと本学で学んだ経緯とその後のキャリアについて、ユーモアを交えたご紹介があり、進学先として仙台白百合短期大学を選んだことは最高の選択だったと大変嬉しいお言葉をいただきました。その後、大衡村の課題と施策、将来に向けた4つの目標について、写真や資料を用いて分かりやすく説明されました。具体的には、人口減少や少子高齢化への対応として、「稼ぐ地域づくり」「新しい人の流

れづくり」「若者世代の子育て支援」「魅力的な地域づくり」などに取り組んでいるとのことでした。また、小川村長は「あいさつ」「夢を持つこと」「感謝すること」の3つを大事にされていることに触れられ、学生の皆さんも大事にしてほしいと締めくくられました。

第二部の対話では、学科代表パネリストの、能方朱里さん（子ども教育学科2年）、鈴木夏叶さん（心理福祉学科4年）、佐藤茉央さん（健康栄養学科3年）、宮崎めぐみさん（グローバル・スタディーズ学科3年）ら4名の質問にご回答いただきました。小川村長は、女性の観点を活かして住民のために頑張る決意や、男女平等の実現に向けた取り組み、子育て支援、外国人住民への施策などについて語られ、参加者全員、大いに刺激を受けました。

講演の終了時には、本学と同窓会を代表して、氏家幸子同窓会会長から感謝の言葉とともに花束が贈呈されました。



ホームカミングを開催

2024年10月26日（土）、27日（日）に白百合祭の企画としてホームカミングを行いました。

本年もチャリティバザーとして会員の皆様にご提供いただきましたリサイクル品をはじめ手作りの和装タペストリーやトートバッグ、可愛い編みぐるみなど数多く展示販売いたしました。ご協力くださいました会員の皆様に心から感謝申し上げます。

また今年も五島軒のクッキーをお取り寄せし、販売いたしました。クッキー1枚1枚に白百合マークの焼き印が入っていて来場の同窓生や教職員の皆様にもご好評いただきました。

会員の皆様、今年もぜひ白百合祭に足をお運びいただきましてホームカミング会場にもお立ち寄りください。心よりお待ちしております。

バザー収益金19,875円は来年度のフードドライブ等に使わせていただきます。



グローバル・スタディーズ学科「IT ビジネス」スタディコース新規開設について

グローバル・スタディーズ学科長

山田 恵

グローバル・スタディーズ学科は、グローバルな知識と視点と語学力を磨くことに焦点をあてた教育を提供する学科として2013年にスタートいたしました。それ以来一貫して、入学後に学生が自らの興味や将来のキャリア構想に従って選択できるスタディコース制を採用してきました。

2025年度入学生より、既存の「イングリッシュインテンシブ」「グローバル文化」「共生社会」に加えて、「IT ビジネス」スタディコースを新設することになりました。新設される「IT ビジネス」スタディコースは、グローバルな現代社会で要求される言語スキルやITスキルなどのコミュニケーション能力を伸ばしながら、実践的なビジネス実務能力を高めることに主眼を置いたスタディコー

スです。上級ビジネス実務士、上級情報処理士、ITパスポートなどの資格取得をメインに履修計画を立てることも可能です。グローバルな視点の育成には在学中に海外生活を経験することが重要だという観点から、本学科では海外研修や留学、海外インターンシップもカリキュラムに取り入れています。「IT ビジネス」スタディコースを選択しても、もちろん海外研修や留学、海外インターンシップに参加できます。

現代のビジネス環境で非常に価値があるITとビジネスの知識を磨き、グローバルな視野を育むことで、卒業後のキャリアの選択肢がさらに増えるものと考えております。

クリスマスチャリティーバザーのご報告と御礼

図書館長
地域貢献研究センター長

大本 泉

2024年12月19日（木）10:00～14:00、食堂ステラマリスにて、初めての試みとして、仙台白百合女子大学地域貢献研究センター、同窓会と学生会との合同でクリスマスチャリティーバザーが行われました。これも初めて仙台白百合学園高等学校と本学との協働活動である「こども食堂」が2024年度高大連携事業として3回開催されたのですが、バザーの目的は、収益金をこの「こども食堂」運営助成の一部として役立ててもらうことにありました。

準備期間はあまりありませんでしたが、当日は衣料品等をはじめ、同窓会事務局の方のお手製の小物等も人気があって、すぐに売り切れました。教職員と学生からも、タオルやこけし等様々なものが集まり、終了間際には、学生に10円単位で購入してもらうこともありました。

収益金は、下記のとおりです。ご報告いたします。

同窓会	7,350円
学生・教職員	9,650円
合計	17,000円

1月16日に同窓会事務局から収益金をいただき、学生と教職員の分とを合算して、1月21日に仙台白百合学園まで届けに参りました。鈴木里香校長をはじめ先生方に喜んでいただきました。ご協力いただいた皆様のお気持ちを伝えることができ、嬉しく存じております。

バザー当日は、村長が同窓会員である大衡村の産業振興課に依頼して、同村の特産品販売もしていただきました。仙台白百合会カリタスの丘や仙台市泉区まちづくり

推進課の方々もお越しになり、にぎわいました。キムチや野菜等の物産品があっというまに売り切れてしまったことは、今でも語り草となっています。役場の方の話によると、宮城県庁より本学の方が、販売売り上げが高かったとのことでした。大衡村の歴史や現状についてのパネル展示やパンフレットも用意していただきましたので、勉強にもなりました。

ご協力くださいました同窓会の皆さまをはじめ、準備の段階からご尽力いただきました同窓会事務局の皆さまに、この場を借りて厚く御礼申し上げます。



2024年度 会計報告

2024年度 決算報告

費 目	収 入	支 出	備 考
2023年度 繰越金	24,085,334	0	定期預金・普通預金を含む
2024年度 終身会費	3,165,000	0	会費15,000円×211名分
年会費	124,000	0	54名分
利息	8,761	0	預金利息(定期・普通)
特別収入	40,000	0	ご祝儀
入会式	0	96,849	卒業記念品
会議費	0	44,582	幹事会・役員会等
総会費	474,880	642,656	会場費・食事代補助
会報費	0	1,113,290	会報印刷・郵送料・封筒代
慶弔費	0	59,950	卒業式花代・弔花・弔電
事務費	0	1,012,290	電話代・文具代・パート代等
特別事業費	80,865	70,990	チャリティーバザー・白百合祭広告等
予備費	0	0	
合 計	27,978,840	3,040,607	

2025年3月31日次年度繰越金 24,938,233

2025年度 予算(案)

費 目	収 入	支 出	備 考
繰越金	24,938,233	0	定期預金・普通預金を含む
終身会費	2,865,000	0	女子大学27回生(191名)予定者数
年会費	124,000	0	
利息	8,761	0	預金利息(定期・普通)
特別収入	0	0	
入会式	0	100,000	卒業記念品等
会議費	0	50,000	幹事会・役員会等
総会費	490,000	720,000	会場費・食事代補助
会報費	0	1,300,000	会報印刷・郵送料等
慶弔費	0	100,000	花代(入学式・卒業式)その他
事務費	0	1,500,000	電話料・文具・パート代等
特別事業費	30,000	10,080,000	チャリティーバザー・白百合祭広告等
予備費	0	300,000	創立60周年寄付 その他
合 計	28,455,994	14,150,000	

差引次年度繰越予算額 14,305,994

2025年度予算 特別事業費について

1,000万円を超える大変に高額な予算となっておりますので、補足説明いたします。

1,000万円は2026年度の創立60周年記念事業への協力として、同窓会からの寄付となるものです。この予算を組むにあたりましては、2024年10月27日(日)に同窓会幹事会を開催し、審議の結果、出席者108名(委任状出席者78名含む)満場一致でお認めいただいております。

事業報告及び事業案

2024年度 主な事業
6月1日 総会
7月5日 Yukata Dayへ協力
7月 フードバンクへ協力
10月26・27日 白百合祭チャリティーバザー
10月26日 小川ひろみ氏講演会共催
10月27日 全体幹事会
12月19日 クリスマスチャリティーバザー参加
3月13日 同窓会入会式

2025年度 主な事業案
4月 会報発行
6月1日 総会
7月 Yukata Dayへ協力
7月 フードバンクへ協力
10月25・26日 白百合祭チャリティーバザー
12月 クリスマスチャリティーバザー参加
3月18日 同窓会入会式

人 事

〈退 職〉

2025年3月31日付

子ども教育学科

教 授 岡 敬一郎

特任教授 志賀 琢

特任教授 山崎 宣次

教 授 遊佐 重樹

准 教 授 八木 孝憲

心理福祉学科

特任教授 増田 幹司

グローバル・スタディーズ学科

特任教授 坂根 治美

事務局長

志田 昌幸

教務課

江畑 圭輔

〈新 任〉

2025年4月1日付

子ども教育学科

特任教授 佐藤 淳一

グローバル・スタディーズ学科

特任講師 鈴木 理仁

同窓会事務局からのお知らせ

同窓会事務局では、大学より提供された卒業生名簿を同窓会会報の発送と幹事へのお知らせのために利用させていただいております。

還暦祝い・25周年の祝い・同期会などの必要と認められる場合のご連絡については、代表者(学年幹事等)の方に、使用目的の誓約書を提出していただくをお願いし、個人情報については適切に取り扱っております。

住居表示・姓名に変更が生じた場合は、事務局までご連絡ください。大学ホームページから「卒業生の方へ」を開くと「同窓会」があります。その中に各連絡用のQRコードが掲載されていますので、それをご利用ください。電話・ハガキ・またはFAXをご利用の方は下記の事項をお忘れなくご連絡ください。

記

- 氏名(現・旧) ●住所(現・旧)
- 電話番号 ●学科・回生・クラス

【連絡先】

仙台白百合女子大学同窓会事務局
〒981-3107 仙台市泉区本町田6-1
TEL・FAX (022) 372-3595
(毎週木曜日開局)

ホームページ

同窓会では年1回春に「同窓会報」を発行し、同窓生の方へ発送しております。また、第45号からはWEB上でも公開しております。

<https://sendai-shirayuri.ac.jp/guide/classmates/>

● 編集者

阿部美恵子(家政科 3回生) 塚本 良子(家政科 5回生)
斉藤 礼子(家政科15回生) 西條るり子(家政科15回生)